

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
ウエディングデザイン (儀礼服飾) Wedding Design (Ceremony Fashion)		1年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	(特になし)	
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
ファッション系科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
ファッション系科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
阿部芳子・笹崎綾野	福祉棟3F	授業内に指示する		授業中に指示します
授業の概要				
結婚式(ウエディング)における女子・男子の衣装について、洋装・和装を学ぶ。また、人生の通過儀礼の服装についてデザイン、着装法をはじめ、歴史、意味、関連産業などについて学ぶ。若い学生にとって、結婚は人生の最大行事である。ウエディングやセレモニーファッションのコーディネーター知識(TPO)を持つことは重要である。ウエディングデザインを主として、セレモニーファッションの知識・技術・関連産業について学び、プランナーやアドバイザーとしての知識と技術を身につけることを目的とする。				
授業の目標				
①婚礼衣装デザイン(洋装・和装)の衣装デザイン、コーディネート法、素材の特長を理解できるようにする。②儀礼行事の服装(子供から大人)の和服の知識と着装法を学ぶ。③装飾品としてのコサージュやブーケ、フラワー装飾について知識と技術を身につける。				
授業の方法				
実物や資料を使用しての授業。プリント配布。貸衣装店での実情理解のために、学外授業にて着装法や名称、コーディネートの仕方等を学ぶ(12月1週目)				
学習の成果(学習成果)				
①婚礼衣装について、男女別の洋装・和装の衣装デザイン、着装法、素材、構成法を学ぶことができる。②社会でコーディネーターやアドバイザーとして補助的な仕事ができる知識、技術を身につけることができる。③通過儀礼行事の子供から大人まで、和装の基礎知識を学ぶことができる。④装飾品としてのコサージュやブーケ、フラワー装飾についても知識と技術を身につけることができ、応用発展させることができる。⑤国家行事や国際的な行事、諸外国の事情に関する儀礼的服飾の知識を学ぶことができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス、人生通過儀礼の歴史と慣習			(阿部①) 9/26
第2回目	ブライダル産業・関連産業			(笹崎①) 10/3
第3回目	ウエディングドレスデザイン ①	新婦・洋装	デザイン 素材・着装法	(笹崎②) 10/10
第4回目	ウエディングドレスデザイン ②	新婦・洋装	昼・夜のフォーマル	(笹崎③) 10/17
第5回目	ウエディングドレスデザイン ③	新郎・洋装	デザイン・素材・着装法	(笹崎④) 10/24
第6回目	コサージュやブーケ、フラワー装飾、室内装飾			(笹崎⑤) 10/31

第7回目	トータルコーディネートとコーディネートの考え方		(笹崎⑥) 11/7
第8回目	日本のきもの(和装)①	歴史・概略	(阿部②) 11/14
第9回目	日本のきもの(和装)② 子どもの成長祝いとスタイル=宮参り、七五三、成人式、結婚式		(阿部③) 11/21
第10回目	日本の婚礼衣装(和装)①	(打ち掛け、白無垢、紋付羽織袴) 特長と着装法	(阿部④) 12/5
第11回目	学外授業(篠崎貸衣裳店) 貸衣裳の種類と特徴、着装法、業務等を学ぶ。 [レポート] (阿部・笹崎) 12/12		
第12回目	日本の婚礼衣装 ② 結婚式のスタイル(教会・神社・人前・仏前)、美容・着付け・衣装業務・貸衣裳のスタイリスト業務 阿部⑤) 12/19		
第13回目	宮中行事(TPOの原点)、訪問着、卒業式の袴姿の着装、社交着としてのきものTPO		(阿部⑥) 1/16
第14回目	人生の節目の衣装と行事関連、長寿祝い、喪服、	海外事情 ①	発表 (阿部⑦) 1/23
第15回目	海外事情 ②	(フランスの例)	発表 (笹崎⑦) 1/30
成績評価の方法と基準			
	評価の領域	割合	評価の基準
	授業参加態度	30%	遅刻、欠席がなく積極的に授業に参加しているかを評価する。
	レポート	30%	課題の内容を適切にまとめ、期限内に提出されているかを評価する。(Sの評価基準)
	調査報告書		
	小テスト		
	試験		
	発表内容(態度含む)	40%	それぞれの発表内容が理解でき、適切に自分の考えでまとめ、発表できていたか総合的に評価する。(S規準評価)
	その他		
教科書と参考図書			
授業時に資料を配布する。 きもの読本 参考:ブライダル関連雑誌			
履修上の留意点・ルール			
積極的な授業参加を臨む。授業中の携帯使用、私語、居眠り厳禁			